

特集

新年度予算
税金の使い方が決まりました。 P.2~3



せとやきそば
子どもたちにも
大人気です。



せとグルメ

市民だけでなく、観光客の間でも親しまれ、今やご当地グルメとして知られるようになった「瀬戸焼そば」。独特の食感がある蒸し麺と醤油ベースで豚の煮汁を使った「やきそば」は小・中学校給食のメニューにもなっています。



新年度予算 税金の使い方が決まりました

合計当初予算額
738億5,317万円

内訳

一般会計予算……401億6,000万円(前年度比+2.92%)
特別会計予算……251億2,100万円(前年度比+3.47%)
企業会計(水道・下水道)予算……85億7,217万円(前年度比+10.35%)

▼プラスチック製容器包装の分別収集がスタート

事業内容 令和4年秋頃からプラスチック製容器包装は可燃物ではなく、資源物として分別収集します。

議会の視点 なぜこの時期にプラスチック製容器包装の分別収集を始めたのか。

Q なぜプラスチック製容器包装の分別収集を実施するのか。

A 容器包装リサイクル法に基づいてゴミを減らすとともに、資源を有効に利用することを進める。また、資源物の分別意識の向上や、国からの交付金を獲得することなど様々な要因から分別収集に取り組むこととした。

プラスチック製容器包装の分別収集が始まります!!



へらせっとくん

▼AIチャットボットが使いやすくなります

事業内容 市ホームページやせとまちナビで始まったAIを活用した総合案内サービス(AIチャットボット)の回答速度、内容が充実します。

議会の視点 市民の利便性向上となるのか。

Q スピード感のある進化がなければ利便性が向上せず、市民の皆さんの利用が広がらないと考えるが認識を伺う。

A 全庁的に案内を出して集約するという従来の方法から、全課共有のデータベースを活用した方法に切り替え、迅速な回答の充実に努めている。



市ホームページのチャットボット

▼保育士さんの日常業務を助けます

事業内容 保育士の仕事の負担を減らし、実りある保育を行ってもらうために、ICT(情報通信技術)を使った保育業務支援体制を新たに整えます。

議会の視点 保育現場にタブレットが導入されるが、その内容は。

Q 令和4年度から全園導入予定の保育業務支援システムについて、このシステムを選択した理由を伺う。

A 園児の管理や指導計画作成などで、ICTを活用し保育士の業務を軽減する。また、保護者とのコミュニケーションツールとしても活用できることから採用した。



園児登園の様子



保育業務のICT化

▼駅周辺の交差点警告ブロッックを設置します

事業内容 障害のある方が安心安全に移動するための環境を整備します。

議会の視点 真に効果のある障害者施策をどう実現するのか。

Q 新瀬戸駅・瀬戸市駅周辺以外の交差点でも事業の継続性として、順次整備していくのか。

A バリアフリー新法に基づき、障害者の方々と意見交換しながら進める。今後は水野駅周辺・山口駅周辺の交差点を予定している。



水南町交差点(南西角から北西角を望む)

▼宿泊型の産後支援が始まります

事業内容 出産後の育児などに不安をお持ちの方々を対象にした、宿泊型の産後ケア事業を進めます。

議会の視点 宿泊型の産後ケア事業が必要な方にどこまで寄り添うのか。

Q 拡充される産前産後支援事業の中の宿泊支援について具体的に伺う。

A 産後ケアを実施している医療機関と連携し、産婦の方に宿泊してもらい、一時的に育児を支援しながら、様々な育児の悩みに対してアドバイスや相談等に応じることができる事業である。



▼認知症の方のもしも！の時の救済制度ができます

事業内容 ひとり歩きをしてしまう認知症の方が増えています。事故などで大きな金額の支払いを求められることもあり、個人賠償責任保険に入る方の保険料を市が負担します。

議会の視点 認知症であれば誰でも保険に入るのか。

Q 加入対象者、加入方法、周知方法について伺う。

A 対象者は要介護認定で「徘徊」「外出して戻れない」の項目が、「ある」または「時々ある」に該当する方などで、瀬戸市おかえりサポート事業に登録をされた方が対象。申し込みは市役所で受け付ける。広報せとや報道機関、もーやっこネットワーク、瀬戸旭の医療介護事業者のネットワークなどにも協力を得て周知していく。

▼観光客の誘致を進めます

事業内容 日本遺産のまち瀬戸市ならではの特色ある有形・無形の財産を最大限に活用した観光推進に取り組みます。

議会の視点 ジブリパークや、ホテル開業など、瀬戸市の観光推進のひとつの契機となるのか。

Q コロナ禍の影響で観光業界へのダメージは大きいですが、今後、どのような明るい展望があるのか伺う。

A バスツアーは、キャンセルが続いたが、令和3年11月から1ヶ月で、約1,000名のツアー客にお越しいただいた。各旅行会社に過去最高の200ツアーを企画いただいている。次年度以降も、尽力していく。



瀬戸蔵のバスツアーの様子

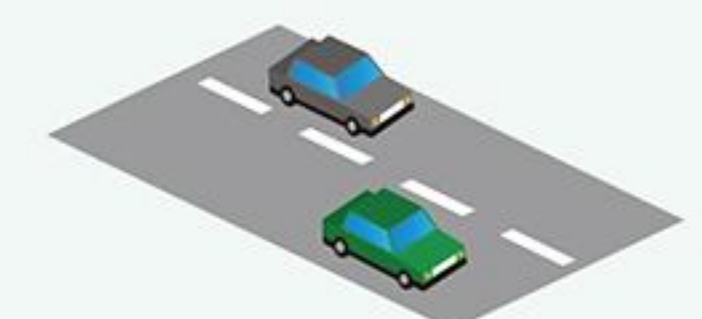
▼水野中線渋滞対策を進めます

事業内容 穴田暁企業団地にアクセスする水野中線を複数車線化することにより、円滑に走行できるよう整備を進めます。

議会の視点 ハード面(道路整備)とソフト面(通勤時間調整など)の両面での対策が重要ではないか。

Q 渋滞調査を行い、令和6年度完了予定とされているが渋滞の現状を踏まえると、もう少しスピード感を持ってはどうか。

A 今回の現況調査は、企業団地側の将来的な計画も含めた交通量などを把握するものである。ソフト面も考慮しながら、効果のある対策を十分検討し、段階を踏んで対応していく必要がある。



》 予算大綱説明

令和4年度当初予算を編成するに当たっての、市長の考え方を紹介します。



瀬戸市長
伊藤 保徳

本年は、瀬戸のやきものづくりの中興の祖と言える「磁祖 加藤民吉」翁が生誕して250年という大きな節目の年となります。民吉翁らの先人の新しいことに挑戦する精神、またはそれを取り入れる柔軟な想像力や人のつながりの強さを生かした実行力は、現代社会においても見習い継承すべき力であると思います。

さて、本市の最上位計画である「第6次瀬戸市総合計画」は、策定から5年が経過しました。とりわけ、新型コロナウイルス感染症の拡大やSDGs(持続可能な開発目標)、カーボンニュートラルなどの様々な問題・課題にも直面しています。こうした課題を乗り越えるためには、先人からの教えを踏まえ、先端のデジタル技術を取り入れながら、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進しつつ、地域の資源を最大限に生かし、多様な連携・パートナーシップによって、常に挑戦し続けていくことが重要であります。こうした思いから、令和4年度予算案につきましては、本市が直面する様々な課題に対して、先人たちの叡智や情熱を受け継ぎ、未来に向けて創意工夫をこらしながら、解決に資する新たな挑戦を行う事を意識した編成としました。

》 代表質問

3月定例会では、3人の議員が会派を代表して代表質問を行い、新年度の予算や市政運営についてそれぞれ質問をしました。質問を行った順に各会派2問ずつ主な質問と答弁を紹介します。



自民
新政クラブ
朝井 賢次



第6次総合計画の評価と課題について

Q 策定から5年が経過した第6次総合計画についての現在までの評価と、将来像の実現に向けて予算大綱で記された「解決に資する新たな挑戦を行う」の意図するところは何か伺う。

A この5年間で市内人口は社会増となっており、都市像ごとの各指標も含めて取り組みの成果が一定程度あったと評価し、進捗状況も概ね計画通りであると分析している。策定時には想定していなかった新型コロナウイルス感染症の拡大、SDGs、カーボンニュートラルなど様々な問題・課題に直面しており、その対策として先端デジタル技術等を取り入れながら挑戦し続けていくことが重要であると考えている。

陶磁器産業の振興施策について

Q 予算大綱に散見される「民吉」「山繁」「ツクリテ」は本市の地場産業である陶磁器産業が土台にあるからである。施策推進のためには陶磁器産業の発展が欠かせないが、支援施策の必要性について市長の想いと見解を伺う。

A 本市は千年余りにわたって歴史を刻んできた陶磁器産地であり、文化や伝統を未来に継承する取り組みは現役世代の責務だと認識している。今後の政策には産地が一体となって「稼ぐ力の強化」を図ることが重要であると考え、本年秋までに「瀬戸焼振興ビジョン」を公表し、業界団体との連携策を着実に実施していく。



日本共産党
瀬戸市議団
浅井 寿美



コロナ禍のもと自助共助・福祉切り捨てからの転換を・ごみ有料化

Q 本市はごみ減量の推進強化のために、新たにプラスチック製容器包装、剪定枝などの分別品目を増やす方針を示した。市民一人一人にこれまで以上の減量の努力と負担を求め、加えてごみ処理費用の有料化による経済的な負担を課すことで、コロナ禍のもと市民の暮らしは困難を増すものとする。有料化の当事者である市民の理解は十分に得られているのか。

A ごみの減量は本市の喫緊の課題であるため、新たな資源分別や有料化制度の導入に至った。市民の皆様が自ら取り組みを進められるよう、ご理解を深めていただきつつ、全力で取り組みを進めていく。

ジェンダー平等をあらゆる施策に・学校トイレに生理用品の設置を

Q コロナ禍で顕在化した「生理の貧困問題」は、現在「リプロダクティブヘルス&ライツ(生涯にわたる性と生殖の健康と権利)」の観点から、女性や子どもの健康や尊厳に関わる問題となっている。心身の健康の土台が形成される10代の時期に、子どもたちの人権やプライバシーに配慮しながら、子どもたちが安心して学習に取り組めるよう、保健室ではなく、学校トイレに生理用品を配置すべきではないか。

A 現在、養護教諭により、子どもたちに提供しているが、どのような提供方法が子どもたちにとって良いのか、学校とともに検討していく。



公明党
瀬戸市議団
長江 秀幸



令和4年度当初予算編成の概要について

Q 一般会計の予算額は、401億6000万円で、小学校跡地売却や、コロナ禍でも予想より落ち込みが少なかった市税の収入見込み分を含み、過去2番目の規模となっている。総合計画を加速させる、或いは再スタートを切るに十分な予算編成となっているのか伺う。

A 令和4年度の当初予算案は、新型コロナウイルス感染症を始めとした社会情勢の変化やSDGs、カーボンニュートラルといった新たな課題など、本市が直面する様々な問題・課題に対し、DXや地域との多様な連携により解決に資する新たな挑戦を行う事を意識して編成した。

旧山繁商店の具体化について

Q 旧山繁商店の保存活用計画は策定したもののこれまでなかなか進んでこなかった。コンセプトプランを作成し、民間活力の導入や市民との協働による整備・公開を進めていくが、市民、来訪者が満足した形になっていくのか懸念する。今後どのように具体化していくのか伺う。

A 「旧山繁商店保存活用計画」に基づき、市民ニーズや利活用におけるアイデアを民間事業者から広く意見を求め、その結果を踏まえ庁内検討会議において活用計画をまとめ、市民や来訪者にとっても魅力的な施設づくりを進めていく。

どこが変わるの 私たちの暮らし

今回の3月定例会で、特に市民生活に大きな影響のあることが、どのように審議され決まったのかをお知らせします。

▶ごみ処理費用の有料化と、プラスチック製容器包装の分別が決まりました。

・有料化(ごみ袋値上げ)は令和5年9月から、分別は令和4年秋頃からはじまります。

・総務生活委員会では・・・

Q パブリックコメントや説明会で反対意見も大変多かったが、議案提出までにどのような議論をされたのか。

A ごみを減らすこと自体に反対をされている方はおらず、有料化制度には基本的にご理解はいただけている。ごみの減量や分別などについて、ご意見ご要望を多くいただき、今回新たにごみ減量アクションプランをお示した。

⇒賛成討論、反対討論があり、議員から修正案が提出されるも、賛成少数(11対14)で否決されました。結果、市長から提案された原案が賛成多数(14対11)で可決され、附帯決議(実施に際しての議会からの要望)が可決されました。

▶瀬戸焼で暮らしを楽しもう条例が制定されました。

・市民が瀬戸焼に誇りと愛着を持つきっかけを提供するため、瀬戸焼の利用や普及の促進に関する基本理念を定め、市・各事業者・市民の役割を明らかにし、地域が一丸となって瀬戸焼を持続的に発展させていこうという意思を明確にしたものです。

・都市活力委員会では・・・

Q 基本理念について、『取り組まなければならない』と義務のように読める表現になっているが、これは義務規定ということか。

A 瀬戸焼に関わる人たちが一丸となって、もう一度振興を図っていこうという強い想いを表現するもので、義務付けをするものではない。

⇒賛成討論、反対討論があり、議員から修正案が提出されるも、賛成少数(9対16)で否決されました。結果、市長から提案された原案が賛成多数(16対9)で可決されました。

詳しい議案の内容については
瀬戸市ホームページをご覧ください。



3月定例会議案等審議結果

◆市長提出議案

議案番号	件名	採決結果
第2号議案	パルティセと空調設備改修工事請負契約の変更について	可決(全会一致)
第3号議案	瀬戸市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第4号議案	瀬戸市附属機関設置条例の一部改正について	可決(全会一致)
第5号議案	瀬戸焼で暮らしを楽しもう条例の制定について	可決(賛成多数)
第6号議案	瀬戸市スポーツ施設条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第7号議案	瀬戸市都市環境整備基金条例の制定について	可決(全会一致)
第8号議案	瀬戸市手数料徴収条例の一部改正について	可決(全会一致)
第9号議案	瀬戸市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第10号議案	瀬戸市市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第11号議案	瀬戸市下水道事業受益者負担金条例の一部改正について	可決(全会一致)
第12号議案	令和3年度瀬戸市一般会計補正予算(第15号)	可決(全会一致)
第13号議案	令和3年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第14号議案	令和3年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第15号議案	令和3年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第16号議案	令和3年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第17号議案	令和3年度瀬戸市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第18号議案	令和4年度瀬戸市一般会計予算	可決(賛成多数)
第19号議案	令和4年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計予算	可決(賛成多数)
第20号議案	令和4年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計予算	可決(全会一致)
第21号議案	令和4年度瀬戸市介護保険事業特別会計予算	可決(賛成多数)
第22号議案	令和4年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計予算	可決(賛成多数)
第23号議案	令和4年度瀬戸市水道事業会計予算	可決(全会一致)
第24号議案	令和4年度瀬戸市下水道事業会計予算	可決(全会一致)
第25号議案	瀬戸市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決(全会一致)
第26号議案	高規格救急自動車(救急2号車)及び高度救命処置用資器材の買入れについて	可決(全会一致)
第27号議案	瀬戸市国民健康保険条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第28号議案	瀬戸市個人情報保護条例の一部改正について	可決(全会一致)
第29号議案	瀬戸市職員の育児休業に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第30号議案	令和4年度瀬戸市一般会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第31号議案	令和3年度瀬戸市一般会計補正予算(第16号)	可決(全会一致)
第32号議案	令和3年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決(全会一致)

◆請願

議案番号	件名	採決結果
請願第1号	ごみ処理費用有料化に対する請願	不採択(賛成少数)

◆議員提出議案

議案番号	件名	採決結果
第1号議案	ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議	可決(全会一致)
第2号議案	第3号議案瀬戸市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正についてに対する附帯決議	可決(賛成多数)

◆動議

議案番号	件名	採決結果
第3号議案修正動議	瀬戸市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正についてに対する修正案	否決(賛成少数)
第5号議案修正動議	瀬戸焼で暮らしを楽しもう条例の制定についてに対する修正案	否決(賛成少数)

各議員の議案に対する賛否の状況

左記議案のうち賛否の分かれたもののみ記載

議員名	自民新政クラブ														公明党	日本共産党	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	
	朝井賢次	高島淳	西本潤	小澤勝	水野良一	宮園伸仁	富田宗一	柴田利勝	戸田由久	山田治義	三木雪実	長江公夫	三宅聡	池田信子	長江秀幸	新井亜由美	浅井寿美	原田学	松原大介	馬嶋みゆき	石神栄治	中川昌也	高桑茂樹	臼井淳	藤井篤保
第3号議案に対する修正案	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×
第3号議案	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○
第5号議案に対する修正案	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○
第5号議案	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×
第6号議案	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号議案	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○
第19号議案	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第21号議案	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号議案	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第27号議案	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×
第3号議案に対する附帯決議	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○

【○】は賛成(同意) 【×】は反対(不同意) 議員名は左から会派ごとの議席順に記載。
 なお、宮園伸仁議員は議長職のため採決には加わりません。

新型コロナウイルス感染症対策にかかる補正予算を臨時会で可決

▶ 第1回臨時会(令和4年1月18日開催)議案等審査結果

議案番号	件名	採決結果
第1号議案	令和3年度瀬戸市一般会計補正予算(第14号)	可決(全会一致)

▶ 補正予算の主な内容

◆ 個人番号カード活用

窓口での接触機会を減らし、感染リスクを低減するため、マイナンバーカードを利用して各種証明書の発行が可能なキオスク端末を市役所本庁舎に設置します。

◆ まるっとミュージアム推進

(観光タクシーツアー料金等助成)
 マイクロツーリズムを推進し、本市への誘客を図るため、おもてなし観光タクシーツアー料金等の一部を補助します。

Zoomを利用したWEB研修を実施

関西学院大学小西砂千夫教授を講師に迎え、3時間にわたり「令和4年度の国の予算と委員会における調査研究課題に対する考察」というタイトルでリモートによる研修を実施しました。国の予算の概要を知ることは3月定例会での予算審査をするうえでとても参考になりました。また、各委員会における調査研究課題の取り組みに対して高評価をいただきました。



一般質問

市の行政課題などについて11人の議員が考え方や内容を質問しました。質問を行った順に、一人ずつ紹介します。



無会派
松原 大介



新型コロナ第6波における教育現場でのタブレット端末の活用状況と今後について

Q 小・中・特別支援学校において、非常時を想定したタブレット端末 (iPad) 活用はどのようであったか。第6波襲来時、授業の定点配信やオンライン授業などは、どの程度行えたのか。また、今後の学びの保障はどのようにしていくか。

A 非常時を想定し、タブレット端末の持ち帰りや接続テスト、オンライン授業の検証などを行ってきた。第6波においては、一部の学校で授業の定点配信やオンライン授業を行ったが、学校間における差が生じていた。今後はICT支援員の全校配置などにより、学校間のレベル差を解消していく。(学校教育課)



無会派
馬嶋 みゆき



保育園の慣らし保育について

Q 本市では少しずつ園生活に慣らし、通常保育へ移行する「慣らし保育」を実施しているが、保護者の就労開始の状況によっては初日から通常の勤務形態で就労することが難しくなる可能性が高い。働く保護者が仕事の調整をしなくても就労初日から安心して育児と仕事の両立が出来る環境を整えられるよう就労前でも慣らし保育のため入園可能とするなど柔軟な対応が必要と考えるが見解を伺う。

A 保護者の就労への負担を考慮しつつお父さまへの心身の負担が生じないような慣らし保育に関して今後、他市町の運用等も研究し検討を始めたい。(保育課)



日本共産党
瀬戸市議団
新井 亜由美



団地の学校統廃合案は子どもの学びと発達を全面的に保障できるか

Q 計画案には、児童生徒・教職員・保護者・地域住民の声を取り入れる必要があったと考える。また、さくらんぼ学園は、尾張旭と長久手も含めた3市の特別支援学校であり、愛知県・尾張旭市・長久手市教育委員会との協議も必要だったと考えるが、なぜ意見を聞かなかったのか。スケジュールも含めた計画変更が必要ではないか。

A PTAと地域の意見を一定程度反映させ、まずは学校再編に係る計画案を示した。この計画案は確定したものではなく、今後、学校に関わる方の様々な意見を可能な限り本計画に盛り込んでいく。(教育政策課)



無会派
中川 昌也



「人権が尊重される街づくり条例」の制定について

Q 差別や偏見のない社会を実現するため、「人権が尊重される街づくり条例」を制定することや自治体が果たす役割をどのように考えているのか。また、早期の条例制定を進めていくことが有効と考えるが、市の考えを伺う。

A 自治体が条例を制定した場合、人権擁護の理念や考え方を示す役割を担う。また、本市における条例制定については、現在、愛知県が「愛知県人権尊重の社会づくり条例」の制定を進めており、その動向を注視していくと共に、瀬戸市人権擁護委員と協議していく。(社会福祉課)

会議の様子は、会議録や録画映像でご覧になれます。



Q 市議の質問

A 市の回答



公明党
瀬戸市議団
池田 信子



子育て世代の医療費助成制度拡充について

Q 通院費無償化については、県内全ての自治体で中学校卒業までとなっている。さらに高校卒業までの無償化については、今年1月より名古屋市が拡充したことにより、県内11自治体となった。こうした支援の拡充は、財政判断ではなく子育て支援として市の姿勢が最も現れると考える。拡充の検討が必要ではないか。

A 子ども医療費助成制度は、他自治体と概ね同水準の条件であり、子育て世代の医療費負担軽減がされていると認識する。高校卒業までの通院医療費無償化については、施策の優先度、財政面や近隣市町の動向等を踏まえ検討していく。(国保年金課)



日本共産党
瀬戸市議団
原田 学



国保制度では、なぜ事業主は感染症に罹っても手当金がないか

Q 現在、国民健康保険の加入者が給与制の従業員であれば、感染症に罹患した場合には傷病手当金が支給されます。しかし事業主の場合、この制度は適用されません。同じ国保の加入者であることから事業主にも他の自治体(群馬県、渋川市など)のように傷病見舞金の制度をつくるべきと考えるがどうか。

A 新型コロナウイルス感染症の傷病手当金については、給与をもらっている人(従業員)を対象とする国の方針によるものであり、市独自で対象者の拡大(事業主など)や傷病見舞金などを支給する制度を新設することは考えていない。(国保年金課)



無会派
高桑 茂樹



避難所の備蓄品について

Q 風水害の指定避難所は公民館・地域交流センター・町民会館などがあるが、備蓄品の確保としては十分とは言えないと考える。また地震などの大規模災害に備えて、小中学校などに避難所防災備蓄倉庫があるが、風水害の指定避難所でも活用できるのか、見解を伺う。

A 風水害の避難所は、地震用避難所と異なり台風の通過など短期に避難が解消すると想定し、備蓄量は一時的な滞在を見込んだ量としている。なお、災害の規模や被害状況を鑑み現場の状況報告等を基に災害対策本部の判断により、防災備蓄倉庫の備蓄品を活用することは可能と考える。(危機管理課)



無会派
白井 淳



市の組織見直しはどのような議論を経て決定されたのか

Q 令和3年10月19日の事務改善委員会では、「まるっとミュージアム課」の名称が「観光課」に変更となっていた。「観光課」に至る途中経過の記録がないため、どのように検証を行ったのか。また、観光協会は、市と二人三脚で観光事業に取り組んできたが、課名変更の説明と同意を得ているのか。

A 変更しない方向であったが、再度、軸足を市外の方から見た場合の判りやすさの視点で議論を行った結果「観光課」に決定した。観光協会関係者には市外からの観光客の誘客に積極的に取り組む姿勢を示していくことをお伝えし、ご理解をいただいている。(行政課)



公明党
瀬戸市議団
三宅 聡



「真に効果のある障害者施策」木造住宅耐震シェルターについて

Q 震災時、障害のある方の命を守る耐震シェルター設置工事費補助事業(上限50万円)の活用がなされていないがどのように周知しているか伺う。

A 広報せとや瀬戸市ホームページへの記事掲載により広く周知を行うとともに、障害者福祉団体や障害者が利用・通所する障害福祉サービス事業所等で構成される障害者地域自立支援協議会の「運営会議」をはじめ、「相談支援部会」や「子ども未来部会」などの会議体で適宜チラシを配布し、障害者への周知に努めてきた。今後も引き続き周知に努めていく。(都市計画課)



自民新政クラブ
高島 淳



本市の消防団員の確保について

Q 消防団活動は、地域の火災出動、防火防災指導、広報など多岐にわたる。しかしながら本市の消防団は多くの分団で定員に達していない状況である。団員の確保について伺う。

A 消防団員の確保については、これまで消防団応援サポーター、学生消防団員認証など各種制度の制定や、あらゆる広報媒体を利用しPR活動を行い人員確保に取り組んでいる。また、消防団員説明会を行い、令和元年、令和2年度には計12名の入団があった。今後は若年層の加入促進活動をより一層推進するとともに、幅広い年代の団員が活躍できるよう対応する。(消防課)



自民新政クラブ
柴田 利勝



選挙の投票率向上のため、期日前投票所などの増設を

Q 投票率の低下が続くと、一部の利益しか代弁できない政治が生まれ、地域の政策議論が劣化、不在となりやすく、住民の地方自治に対する関心が更に低下するなどの問題が指摘される。投票率向上のため市民の行動変化に合わせ、投票しやすい環境を整備する必要がある。特に期日前投票所を市内にバランスよく設置し、それに対する交通手段の確保なども進めるべきである。

A 期日前の投票所の利用率は増加傾向にあるため、期日前投票所の増設や、期日前投票所までの移動支援を実施することで、投票しやすい環境整備が進むものと考えている。(行政課)

委員会活動レポート

総務生活委員会では「ごみ減量」について調査をしています

今年度、当委員会で調査研究課題の一つとしている「ごみ減量」について、1月17日に県内でごみ減量トップ5に入る小牧市及び江南市を視察しました。両市ともに共通しているのは、有料化を実施せず、ごみ減量のための徹底した資源化の取り組みを行い、発生抑制として生ごみ処理機などの補助を継続していること、また市職員もごみ問題と真摯に向き合い、積極的にかかわってきたことが減量効果を高めていると感じました。

本市のごみ減量へ向けて、大いに参考にしていきたいと考えます。



小牧岩倉エコルセンターのようす

厚生文教委員会では、「子ども若者相談支援」について調査を進めています

1月11日に豊橋市子ども若者相談支援センター「ココエール」を訪問し、相談支援の現状や関係機関との協力体制などについての調査を行いました。ここでは相談件数の増加により職員体制充実が課題であるが、相談支援の一部を民間委託しており、行政の垣根を越えた支援が可能となっている。また関係機関との連携も積極的に行っており地域全体で取り組む体制を構築しているとのことでした。

本市の相談支援体制等をより充実していくために大変参考となる事例でした。



議会運営委員会では「一般質問のあり方」について協議・検討をしています

よりよい一般質問を目指し、そのあり方を研究するに当たり、どの程度の持ち時間が適当か検討しています。具体的には、発言時間を今まで通り質問のみで考えるのか、質問と答弁を含めて考えるのか、などの方向性を協議してまいりました。12月定例会では、全体で60分程度に、3月定例会では質問時間を30分程度として試行しました。引き続き6月定例会にむけて協議を重ねていきたいと思

います。

議会改革推進特別委員会では「議員定数」について協議しました

議員定数は、12年前にそれまでの28人を26人に改め、現在に至っています。この間、議会基本条例を制定し、常任委員会の調査研究の活発化、広報広聴機能の強化などに取組み、議員個々の活動量は増えています。

議員の活動領域を確認するとともに、人口割や予算に占める議会費の割合などを他自治体の状況も参考に協議を重ねた結果、議会機能を低下させないためには現状の定数26人が適正であるとの結論に至りました。

広聴部会 ニュース vol.8

せとまちトーク(市民と議会の意見交換会)を5月に実施します!

昨年11月に開催しました「せとまちトーク(市民と議会の意見交換会)」で主に自治会の方々と話合った地域課題について、それぞれの委員会で調査・研究をしています。そこで、前回と同様の開催方法で中間報告を行います。

委員会で調査・研究した内容を報告し、その後意見交換を行い、課題解決に向けて一緒に考える機会にしたいと考えています。そして秋頃には、議会としての最終的な取り組み結果を報告したいと思います。

注意 開催にあたり、新型コロナウイルス感染症への注意が必要なため、人数制限やマスク着用など、感染症対策へのご協力をお願いいたします。また、開催月である5月が「緊急事態措置」、若しくは「まん延防止等重点措置期間」となることが判明した場合には中止とします。



編集後記

長引くコロナ禍の中で、私たちは色々な「気付き」があったように思います。時間や社会への向き合い方が大きく変わり、仕事の仕方、人と人とのコミュニケーションの取り方、そして家族とのつながりなど、改めて「ありがたみ」や「必要性」が再認識されたような気がします。そういう状況の中で、瀬戸市議会も、市民にとって「今、必要なこと」を議論、協議し決めています。そして、議会だよりでは、市民の皆さんが身近に感じるキャッチーな表紙と議会情報をわかりやすく掲載しお伝えしています。



ご意見・ご感想は
こちらから





テレビ番組

グリーンシティケーブルテレビ

3月定例会の番組内容は

- ①議長・副議長一年を振り返って
 - ②常任委員会の活動状況について
 - ③3月定例会の結果報告について
- お送りしております。



番組が
ご覧になります。

「こんにちは!瀬戸市議会です。」
(地上デジタル121ch)

6月定例会放送予定

7月11日(月)から7月17日(日)まで

放送時間

(7:10~、9:10~、12:10~、
18:10~、20:10~、22:10~)

※放送時間が変更となる場合があります。詳しくはグリーンシティケーブルテレビから配布される番組表をご覧ください。



傍聴

傍聴をご希望の方は、北庁舎5階の議会事務局にお越しください。



ラジオ番組

RADIO SANQ

「せとまちラジオ」(FM 84.5MHz)

6月定例会放送予定 6月7日(火) 7月12日(火)

放送時間 (9:20~、12:30~、18:00~)



放送の前半は定例会のお知らせ、後半では瀬戸市の未来像について議員が語るコーナーもあります。どんな思いが語られるのかどうぞ楽しみに。

ラジオサンキューホームページから過去の放送分もお聴きいただけます。



インターネット中継

会議の様子をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。



5月臨時会開催予定

5月10日(火) 本会議

5月11日(水) 本会議

5月13日(金) 総務生活委員会・厚生文教委員会

5月16日(月) 都市活力委員会

6月定例会開催予定

6月 6日(月) 本会議(開会・議案上程・説明)

6月 9日(木) 本会議(一般質問)

6月10日(金) 本会議(一般質問)

6月13日(月) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)

終了後 予算決算委員会

6月15日(水) 総務生活委員会

終了後 予算決算委員会総務生活分科会

6月16日(木) 厚生文教委員会

終了後 予算決算委員会厚生文教分科会

6月17日(金) 都市活力委員会

終了後 予算決算委員会都市活力分科会

6月21日(火) 予算決算委員会

終了後 議会運営委員会

6月23日(木) 議会運営委員会

6月24日(金) 本会議(委員長報告・討論・議案採決・閉会)

※いずれも、午前10時からの開催予定ですが、日程が変更される場合がありますのでご確認ください。

※請願・陳情の提出締切日は、5月25日(水)の午後5時です。